

# ボランティア活動をされている団体・個人が 受賞されました

## ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

### 琴伝流大正琴 琴稀会

高齢者施設等で、大正琴の訪問演奏を行っている団体です。



## ボランティア功労者に対する厚生労働大臣感謝状

### ノムラアートクラブ

障害者の方へ絵画教室などの余暇支援活動を行っている団体です。



## ボランティア活動功労賞表彰(愛知県知事)

### 一宮手話サークル(昼の部)

聴覚障害者の方との交流会や、手話の勉強会を行っている団体です。



## 朗読録音奉仕者・全国表彰(公益財団法人鉄道弘済会)

### 一宮市朗読グループ ききょう 古田 滋子さん

古田さんは小説や広報紙、医学書まで幅広い分野の図書を30年以上にわたり朗読録音し、一宮市の視覚障害者への情報保障に多大な貢献をしています。



皆さま、おめでとうございます。

## 第20回一宮市社会福祉大会記念講演

# 「注文をまちがえる料理店の これまでとこれから」

講師 おぐに しろう 小国士朗さん

第20回一宮市社会福祉大会では、元NHKディレクターで現在はフリーランスのプロデューサーとして活躍する小国士朗さんによる講演が行われました。

小国さんが手がけた「注文をまちがえる料理店」は、認知症の方がホールスタッフとして働くイベント型レストランです。誕生のきっかけは、取材先の施設で「ハンバーグを頼んだのに餃子が出てきた」という体験でした。その時、間違いを正そうとするのではなく、受け入れて楽しく食べたことで、食卓がとても温かいものになったそうです。

小国さんは、社会課題を伝える際に「北風」のように不安をあおるのではなく、「太陽」のように思わず関わりたくなる楽しさが大切だと語ります。「間違えることを目的にはしないが、間違えても『まあ、いいか』と受け入れる」。そんな寛容な環境(デザイン)さえあれば、認知症があってもなくても、誰もが自分らしく生き活きと輝けることを、実際の映像を交えて証明してくださいました。

ユーモアと温かさに満ちた講演を通じ、効率や正確さだけではない、これからの地域社会に必要な「共に生きる形」について深く考えさせられる内容でした。

